

知財業務の革新：生成AIによる「知財AIオーケストレーション」の幕開け

【実務編】知財文書作成エージェントによる「権利化実務」の自律化



アイデア入力



自律抽出



対話

Human-in-the-Loopによる
品質と信頼の担保



重複チェック

アイディエーションから明細書ドラフト生成までをシームレスに支援：アイデアの抽出、先行技術調査、出願書類のドラフト作成を一気通貫で自動化します。



自動ドラフト生成



通信キャリア品質の
セキュアなインフラ基盤

未公開の発明情報をバブリックなAI学習に使わせない、クローズドな環境で実務を遂行します。



AIによる3C分析・VRIO分析の
自律実行：
膨大な特許・市場データから、
勝機となるKSFやコアコンピタンスをAIが特定します。



技術マップ・知財KPI

【戦略編】経営戦略論のAI実装と「IPランドスケープ」の民主化

「奏者」から、AIを使いこなす「指揮者(コンダクター)」へ

従来型の知財モデル
(Silo型)



「奏者」

人材の立ち位置
ツールを操作し作業を行う「奏者」

知財部門の役割
依頼を受けて調査・書類作成を行う実行部隊

知財AIオーケストレーション
(Hub型)



「指揮者(コンダクター)」

人材の立ち位置
人とAIの混成チームを束ねる「指揮者」

知財部門の役割
データの品質保証者・
戦略的伴走者



サイロ構造から、全部署が知財を
共通言語にする「ハブ構造」へ：
専門部署に閉じていた知財情報を
AIで平易化し、事業部や経営層が
直接活用できる環境を作ります。